平成28年度第3回宗像市都市計画審議会議事録

平成28年9月28日（水）10：00～

宗像市役所3階 第2委員会室

委員出欠表（ ☒ 出席 ☐ 欠席）			
☒ 黒瀬委員	☒ 日高委員	☒ 大方委員	☒ 萩島委員
☒ 花田委員	☒ 中村委員	☒ 新留委員	☒ 北崎委員
☒ 高原委員	☒ 吉田委員	☒ 伊藤委員	☒ 有馬委員
☒ 酒井委員	☒ 毛利委員		

次 第

- 1 開 会
- 2 議事録署名委員の決定
- 3 審 議
 - 第1号議案 宗像都市計画地区計画の決定（宗像市決定）について
 - 第2号議案 宗像都市計画公園の変更（宗像市決定）について
 - 第3号議案 宗像都市計画用途地域の変更（宗像市決定）について
 - 第4号議案 宗像都市計画準防火地域の変更（宗像市決定）について
 - 第5号議案 宗像都市計画道路の変更（宗像市決定）について
 - 第6号議案 宗像都市計画通路の変更（宗像市決定）について
 - 第7号議案 宗像都市計画駐車場の変更（宗像市決定）について
 - 第8号議案 宗像都市計画公園の変更（宗像市決定）について
 - 第9号議案 宗像都市計画緑地の変更（宗像市決定）について
 - 第10号議案 宗像都市計画下水道の変更（宗像市決定）について
 - 第11号議案 宗像都市計画汚物処理場の変更（宗像市決定）について
 - 第12号議案 宗像都市計画ごみ処理場の変更（宗像市決定）について
 - 第13号議案 宗像都市計画火葬場の変更（宗像市決定）について
 - 第14号議案 宗像都市計画一団地の住宅施設の変更（宗像市決定）について
 - 第15号議案 宗像都市計画土地区画整理事業の変更（宗像市決定）について
 - 第16号議案 宗像都市計画地区計画の変更（宗像市決定）について
 - 第17号議案 宗像都市計画道路の変更（福岡県決定）について
 - 第18号議案 宗像都市計画区域区分の変更(福岡県決定)について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

配 布 資 料

1 議案書（第1号～第18号議案）	・・・	事前送付
2 参考資料（第1号、第2号、第5号、第8号、第9号
第11号、第12号、第16号議案）	・・・	事前送付
3 当日配布資料（第1号、第3号～第18号議案）	・・・	当日配布
4 付議書の写し（第1号～第16号議案）	・・・	当日配布
5 諮問書の写し（第17号、第18号議案）	・・・	当日配布

平成28年度第3回宗像市都市計画審議会議事録

○事務局

おはようございます。定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日はお忙しい中、またお足元の悪い中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

それではここで、審議会の開会に先立ちまして、現在14人全員のご出席をいただいておりますので、2分の1以上の定足数に達しておりますことを委員の皆様にご報告いたします。続きまして、お手元の資料のご確認をお願いいたします。

《配布資料の確認》

○会長

それでは改めまして、事務局からご報告のとおり、定足数に達しておりますので、ただ今から平成28年度第3回宗像市都市計画審議会を開催いたします。

次は、審議会の議事録署名委員の選出でございますが、運営方針に基づいて決めさせていただきます。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

議事録署名委員ですが、運営方針に基づきまして番号順にお2人ずつお願いしております。前回は3番委員の大方委員と5番委員の花田委員でしたので、本日は6番委員の中村委員と7番委員の新留委員にお願いしたいと考えております。議事録の作成方法につきましては、今までどおり、原則、発言者とその内容のすべてを記録しまして、ホームページ上で公開する方法で行いたいというふうに考えております。

○会長

はい、ありがとうございました。それでは皆様、議事録署名委員と議事録の作成方法については、今説明がありましたとおりということでございます。よろしいでしょうか。それでは、中村委員、新留委員に議事録の署名委員をお願いいたします。

では事務局、お願いします。

○事務局

はい。ここで、都市建設部長から本日の審議案件につきまして、審議会への付議及び諮問をさせていただきます。本日お配りしました、付議書及び諮問書をご覧ください。

《付議書及び諮問書の読上げ》

○会長

はい、ありがとうございます。それでは付議及び諮問を受けましたので、審議に入りたいと思います。

本日の議案は18号議案まであるんですけども、3号から16号までは、形式的といえますか、ほぼ同じ内容ですので一括して審議したいと考えています。それから17号、18号は諮問ということで、付議は無いということで、内容としては、やはり形式的なものですので、諮問の17号と18号も一括してやりたいというふうに考えておりますがよろしいでしょうか。

— 「異議なし」の声 —

○会長

それではまず、第1号議案について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、第1号議案「グローバルアリーナ地区地区計画の決定」についてご説明いたします。本地区の地区計画の策定につきましては、都市計画法第23条の2に基づきます、都市計画提案制度を活用したものでございます。

まず初めに、都市計画提案制度について簡単にご説明いたします。当日配付資料第1号議案の都市計画提案の流れをご覧ください。ここに書いてありますとおり、都市計画提案制度と申しますのは、まちづくりに関しまして一定の条件のもとで、土地の所有者などが都市計画のルールを決め、市に対して提案することができる制度となっております。

次に、提案に関する手続きの流れでございますけれども、まず提案者が、都市計画の素案や提案書類などを作成いたしまして、市に提出することとなっております。そこで、提案を受けた市は、提案要件の確認を行いまして、都市計画を決定する必要があるかを判断いたします。そこで今回は、宗像市都市計画提案評価検討会議と市の意思決定機関である庁議などを経まして、決定する必要があると判断いたしましたので、都市計画の手続きに入っております。

次に、提案の要件といたしましては、次のページをお願いいたします。要件の1つ目でございますが、提案者はその区域内の土地所有者などであることとなっております。今回の提案者につきましては、区域内の土地所有者でございます、「一般財団法人サニックススポーツ振興財団」により提出されていることから、条件を満たしております。

2つ目につきましては、一定規模以上の一団の土地であることとなっております。一定の規模につきましては、都市計画法施行令第15条の規定により0.5ヘクタールとなっ

ておりまして、今回の提案の土地は約46.1ヘクタールとなっておりますので、条件を満たしております。

3つ目につきましては、都市計画に関する法令上の基準に適合することとなっております。今回の提案は、都市計画法第29条の規定に基づきます開発行為の許可を取得し、既に整備されたスポーツ施設の維持・保全を図るものでありますので、法令上の基準に適合しております。

最後に4つ目でございます。区域内の土地所有者などの3分の2以上の同意があることが必要となります。下の土地所有者等の同意状況の表をご覧ください。同意につきましては、土地の所有者と面積との両方を満たす必要がございます。まず土地の所有者でございますけれども、総数が15.67人に対しまして14.67人が同意しております。同意率にしますと93.62%でございますので、3分の2以上となっております。同意の人数に小数点以下が出ている理由ですが、1つの土地を3人で共有してございまして、その3人の内の1人が別の単独の土地を持っており、その方を省いた3分の2の所有者がこの小数点以下の数字となっております。また、面積につきましては424,283.97平方メートルに対しまして422,624.97平方メートルでございます。同意率にいたしますと99.61パーセントとなり、両方を満たしております。以上のことから、提案の要件は満たしていることを確認しております。

次に今回の提案の理由につきましては、2019年に開催されます、ラグビーワールドカップのキャンプ地の誘致やスポーツ観光を目指す上で、既存施設の拡充や宿泊施設等が必要となります。しかし、本地区は市街化調整区域に位置しておりまして、総合グラウンドとして第2種特定工作物の開発許可を取得しているため、物品販売店舗などに利用者の制限があり、施設の拡充も難しいため、今回の提案に至っております。

それでは本地区の位置と区域についてご説明いたします。

まず、グローバルアリーナ地区の位置でございますけれども、第1号議案書の4ページをお願いいたします。本地区は宗像市と鞍手町の境に位置しております。

次に、区域でございますけれども、次のページをお願いいたします。区域につきましては、赤い線で囲んでいる区域が今回地区計画を決定しようとする区域でございまして、この区域はほぼ都市計画法の開発許可を取得した区域となっております。

次に、地区計画の内容についてご説明いたします。1ページにお戻りください。先ほど申しました区域の面積といたしましては、約46.1ヘクタールでございます。

次に目標といたしましては、第2次宗像市都市計画マスタープランでは「スポーツ・レクリエーション施設用地」として位置づけられており、宗像市スポーツ推進計画では「スポーツ観光による地域経済活性化の中核拠点」として本地区内の施設を位置づけております。そこで、グローバルアリーナを核といたしまして、スポーツ観光施設の計画的な誘導と施設の維持・保全を行うことで、周辺地域との調和のとれた土地利用を図ることを目標としております。

次に、土地利用の方針といたしましては、周辺が山林に囲まれており、こうした自然環境と調和した良好な環境を有するスポーツ観光の拠点を形成するため、自然環境と共生するスポーツ観光施設としての土地利用を誘導することとしております。

次に、建築物等の整備の方針でございますけれども、土地利用の方針に基づき、本地区の特性にふさわしい建築物の用途などを誘導することとしておりまして、さらには建築物の容積率及び建ぺい率、高さの最高限度などを定めることにより、豊かな自然に囲まれた良好な拠点の形成を図ることとしております。以上の方針に基づきまして、地区整備計画を策定いたしました。

次のページをお願いいたします。この区域は先ほども申しましたとおり、市街化調整区域に位置しておりまして、市街化を抑制する区域でございますけれども、総合グラウンドとしての都市計画法の許可を既に取得しており、これに附属する建築物が建築可能となっております。しかしその条件の中では、施設の拡充が困難であるため、建築物等の用途の制限といたしまして、第1号から第8号までの用途について建築可能にするものでございます。

次に、建築物の容積率及び建ぺい率の最高限度でございますけれども、本地区周辺は建築基準法に基づき、容積率が200パーセント、建ぺい率が60パーセントと定められており、その規模が適切であると考えますので、地区整備計画においても同様の数字といたします。

次に、建築物等の高さの最高限度につきましては、周辺の自然環境と調和し、できるだけ既存不適格とならない高さが適切であると考えております。そこで、既存施設の中で最も高い建築物が現在約18メートルであるということ、今後の計画においてもこの高さを超える建築物は予定されていないというふうに聞いておりますので、提案のとおり20メートルといたしました。

最後に、建築物等の形態又は意匠の制限についてでございますけれども、平成26年7月に宗像市景観計画を策定しており、この地区も景観計画の区域に含まれておりますので、これに基づいた形態・意匠、色彩とすることとしております。

なお、今回の決定案を本年9月6日から9月20日までの間、都市計画法第17条に基づきまして公衆の縦覧に供しましたが、市民及び利害関係者からの意見の提出はございませんでした。

以上で説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○会長

ただいま事務局から第1号議案について説明がありましたので、質疑応答に入りたいと思います。

まず質問書についてですが、事前に提出がありましたでしょうか。

○事務局

事前の質問書の提出はございませんでした。

○会長

はい。それでは今ここでご質問がありましたらお願いいたします。

○新留委員

2019年にワールドカップ、そういう大きな事業というか取り組みに向けて、今も体育館とかはあるので考えられるとすればホテル等だと思うんですけど、5ページの地図を見ると、右側の下の方に2つため池がありますよね。その2つのため池は農業用のため池だというふうに認識しているんですけど、例えば今すぐの計画ではないかもしれませんが、何か施設を新たに建てようと思えば、将来的にはこういう右下の方の池の周りの山林を平地にするとか、左上のテニスコートの横のところ、ここは山林だと思うんですけど、そこを伐採して観覧場のようなところをつくるとか、そういう計画が何となく見通せるっていう気がするんですけど。例えば山林の中にある、今あるため池をつぶしてしまうような計画になれば、農業用のため池としてどうなのかという懸念があると思うんですけど。私は技術的なことはあまりわかりませんのでそのあたりと、テニスコートの上の方の、若干斜面になっていると思うんですけど、その山林等を伐採すれば治水対策は大丈夫なのかというのを心配するんですが。下の方の境界線の向こうは水田ですよね。そういうのを懸念するんですけど、そのあたりはどういうふうに考えて、この計画の中に落とし込められたのかを聞かせていただきたい。

○会長

はい、じゃあ市の方からお願いします。

○事務局

ため池の件でございますが、委員が今おっしゃったように、この天ヶ頭池というのがこの地図上にも書いてありますけれども、農業用水をここに溜めて下流側の農地の方で利用されているため池でございます。これはまた別の法令になりますが、宗像市の方にも「宗像市ため池の保全に関する条例」というのがございまして、そういった条例の中で一定規模以上の農業用ため池につきましては位置づけをしております、将来にわたってそういった農業用の水の確保という観点等を目的に、保全していくという条例上の位置づけをしております。ですから、いくらこれがこの地区計画の区域内にありましても、そこはこの条例で保全していくということでございます。

もう1つ、森林の件につきましては、テニスコートの横の、おそらく言われているのがこの丘だと思いますけれども、ここは保安林ということになっておりますので、保安林として保全するというのが1つ。もう1つが、この46ヘクタールあるところでございますけれども、森林法の開発許可を取得しております、残有林地ということでここは残すというふうにその許可の中で決まっておりますので、この場所については将来にわたって森林として残していくという方向でございます。以上でございます。

○会長

それでは、どうぞ。

○新留委員

ため池の件は、ため池保全条例で、この法が上位法というか、そのしぼりの方が強く、この地区計画の中で建物を建てようと思っても、池があるからそこをつぶそうということにはならないということを確認しておきたいと思います。

○事務局

今おっしゃったように、このため池保全条例の中で、埋め立てなり、別用途への転用などはできないという制度になっております。以上でございます。

○新留委員

わかりました。

○会長

はい、それでは他にご質問があれば。どうぞ。

○北崎委員

先ほどのグローバルアリーナ地区の都市計画を変更することによって、ちょうど今、スポーツ担当の部署もいらっしゃっているので、キャンプ地誘致の現状と、これを変更しなければキャンプ地誘致が難しいのかと。そこが大きなキーワードになるんじゃないかなと思うので、キャンプ地誘致の現状と関連性がどうなのかということをお教えいただきたいと思います。

○会長

はい。ではお願いします。

○事務局

キャンプ地誘致の現状につきましてですけれども、まず2019年のワールドカップにつきましては、本年の12月までに組織委員会の方に公認キャンプ地の申請をすることになっておりますので、その手続きの準備を行っている段階になっております。

なお、部屋のスペースなど宿泊施設の規定といったところがございますので、そういった意味では新しい宿泊施設があった方が有利に進めることができるのではないかと考えております。

○会長

はい。どうぞ。

○北崎委員

要は必要な施設として、ここで言ったら体育館、それから水泳場ですね。たぶんこれはプールだと思うんですけど。スポーツの練習場ということで、グローバルアリーナとしてはある程度兼ね備えている部分と、不足している部分。先ほどホテルと言われたのですが、練習場などアップしたりだとか、そういういろんなトレーニング場など、そのあたりで不足している部分がもしあれば教えてください。

○会長

はい。じゃあ市の方お願いします。

○事務局

ワールドカップにつきましては、先ほど申しましたが宿泊施設の部屋のスペースの問題がございます。またプールにつきましては、現在のところはアクアドームさんのプールをお借りしながら誘致活動の書類を作っていくたいと考えております。なお、2020年のブルガリアの新体操につきましては、現状ではオリンピック委員会に出しているものに準じて、グローバルアリーナの方に施設がございますので、そういったこともお話ししながら誘致活動を行っていくたいというふうに考えています。以上です。

○会長

それでは、他にございませんでしょうか。

質問も出尽くしたと思いますので、採決をとりたいと思います。

第1号議案、都市計画地区計画の決定について異議のある方はいらっしゃいますでしょうか。

— 「異議なし」の声 —

○会長

いないようですので、異議なしということで、第1号議案は可決されました。

それでは続きまして、第2号議案について説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、第2号議案「宗像都市計画公園の変更」についてご説明いたします。議案書、第2号議案の1ページをお願いいたします。

今回の変更につきましては、既に都市公園法により整備された街区公園の2か所につきまして、都市施設として決定する必要がある場合がございますので、都市計画公園の追加を行うものでございます。

まず、1つ目の「城ヶ谷中央公園」についてご説明いたします。参考資料の1ページと議案書の3ページを見ながら説明したいと思います。

まず位置につきましては、本公園は赤間駅から北東に約500メートルの場所に位置しております。都市施設として決定する理由といたしましては、議案書の2ページをご覧ください。本公園は城ヶ谷公民館に隣接しておりまして、城ヶ谷地区の地域活動の中心に整備された公園でございまして、住民福祉の向上や災害時における一時避難場所としても重要な公園であるということから、都市施設としての公園に追加するものでございます。

次に「赤間コミュニティふれあい公園」についてご説明いたします。3ページ、総括図でございますけれども、位置といたしましては赤間駅から東に約1.7キロメートルの場所に位置しております。都市施設として決定する理由といたしましては、議案書の2ページでございますけれども、先ほどの城ヶ谷中央公園と同じく、赤間コミュニティふれあい公園は赤間地区のコミュニティ・センターに隣接しておりまして、コミュニティ活動の中心に整備された公園であり、同じく住民福祉の向上や災害時における一時避難場所としても重要な公園でございますので、都市施設としての公園に追加するものでございます。

なお、今回の決定案を本年9月9日から9月23日までの間、都市計画法第17条に基づきまして公衆の縦覧に供しましたが、市民及び利害関係者からの意見の提出はございませんでした。以上で説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○会長

はい、ありがとうございます。今、事務局から第2号議案について説明がありましたので質疑応答に入りたいと思います。

まず質問書について、事前の提出はございましたでしょうか。

○事務局

事前の質問書の提出はございませんでした。報告いたします。

○会長

それでは今ここで、ご質問がありましたらお願いいたします。

○新留委員

城ヶ谷の方なのですけれど、この土穴四丁目あたりもかなり高齢化が進んで、高齢者のみなさんがひとり暮らしという所帯も多くなっている地域なんですよ。一時避難所ということなんですけれど、今、各コミュニティとか小学校に、リヤカーを避難用に使ったりするので整備してると思うんですけれど、東日本大震災では、高齢者で歩けない方をリヤカーでとりあえず近くの避難所に運ぶとか、そういう教訓がすごく活かされたという話を聞いているんですけれど、この城ヶ谷の公園は、リヤカーだとかそういうものが入る出入り口のようなものはちゃんと確保できているんですかね。私もあまりここに寄ったことがないので。申し訳ないですけれど。

○会長

はい、じゃあ市の方お願いします。

○事務局

今おっしゃいました、例えば道路からリヤカーが中に進入できるかどうかというご質問ですけれど、そこまでは確認をしておりますが、公園というところでございますので、一般の車両とかが容易に入れるような状況では当然ございません。一般的に言いますと、非常時の際とか維持管理の際に、設置しております車止めが可動式というかたちになっておりますので、そういったものを外して、車両を入れたりするようにしてあるところがございますけれども、この公園について、今おっしゃったリヤカーが入れるかどうかというのをここでお答えできないところは申し訳ございませんが、そういうところがございます。

○新留委員

一時避難所として、そういう位置づけにするのであれば、この写真で見るとここは入れそうかなとは思いますが、その後、公園に入るところから狭くなっていたりするので、そのあたりの確保を、そういう条件を加味した整備をもし今の時点ではされていなければ、やってほしいというふうに考えるんですけれど。

○会長

はい。それではお願いします。

○事務局

新留委員がご質問のように、当然リヤカーもですけれども、今、健常者だけではなく、障がいのある方、例えば車椅子等でも利用できなければならないのが公の施設だと思いますので、もし例えば、そういったリヤカーもしくは車椅子で利用ができないのであれば、所管の課に指示をいたしまして、できるだけ早急に対処をしたいと思っております。以上です。

○会長

ありがとうございました。

それでは他にございませんでしょうか。はい、どうぞ。

○新留委員

赤間のコミュニティ・センターの中にある公園の件なのですけれども、普通だったらグラウンドの方は3分の1残して決定するというのは、不自然な感じがするんですよ。地番を見ると、地番が違うので個人所有か何か、事情があつてのことだろうというふうに察するのですけれども、本来なら一体で決定するのがベストじゃないかなというふうにおもうんですよね。この、一部を残さず全部をグラウンド全体を決定するという努力はされたんですか。そのための構想というか、されたのかをお聞きしたい。

○会長

はい。お願いします。

○事務局

委員がおっしゃられたように、参考資料の2ページ目の写真を見ると、このグラウンドの部分、写真ではですね、グラウンドの部分の半分より少し多めの部分で赤い線を入れてまして、この区域で全体ではなくて、一部が公園区域ということでございまして、こうなりたいきさつというのがございまして、この公園で、今回の都市計画決定をする部分については宗像市の所有地なんですけれども、それから外れた広場につきましては、個人所有の敷地でございますが、公園なり、隣接していますコミュニティ・センターを整備する際に、このグラウンドの残った部分については借地という形でないとご了承が得られなかったという経緯がございまして、今の状態ではやはり外さざるをえないと。個人所有地で借地ということですね。しかしながら、これにつきましても、今そういう状況がございまして、今後の相手方との、そういった話し合いの中で、もしも宗像市の方に権利を移行できるような状況が整いましたら、その時点で、区域の見直しなりを検討したいというふうにご考えておるところでございます。以上です。

○新留委員

使っている分は、もう一体化して利用してるんですよ。コミュニティの方も、住民の方も一体として、ここからこうよというふうにはなっていないと思うのですけれども。この

決定の際には、そういった所有者の方にできればという交渉は、具体的にはしていないということですかね。

○会長

はいどうぞ。

○事務局

はい。具体的な交渉は行っておりません。以上です。

○会長

それでは他にございませんか。

今の意見は、今後努力していただいてやはり、市の土地だった方がより良いでしょうかから、そう簡単にはいかないかもしれませんが、その方向でお願いしたいということでしょうか。

それでは他にございませんか。それではご質問が今あったわけなのですけれども、それ以外に意見があればお願いいたします。

意見も特にないということですので、採決に入りたいと思います。第2号議案「都市計画公園の変更」について、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 「異議なし」の声 —

○会長

いないようですので、異議なしということで、第2号議案は可決されました。

続きまして、第3号議案から第18号議案まで、続けて説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、第3号議案から第18号議案までは関連がございますので、一括してご説明いたします。

第3号議案から第16号議案までの14件につきましては宗像市決定となっており、都市計画法第19条第1項により、本審議会において議決を求めるものでございます。

また、第17号議案及び第18号議案につきましては、福岡県決定となっておりますので、都市計画法第18条第1項により、その決定の前に市の意見を聴くこととなっております。

今回の変更点といたしましては、大きく分けて2つございます。

1つ目は、前回の審議会でご審議いただきました、都市計画区域の変更に伴います、都市計画の名称の変更でございます。

2つ目は、都市計画区域の名称変更にあわせまして、位置などの表記の変更を行うものでございます。

それでは、ご説明いたします。当日配付資料の名称変更一覧という、A3カラーの資料をご覧ください。

1つ目の変更点といたしましては、都市計画の名称を「宗像都市計画」から「福岡広域都市計画」に変更するものでございます。名称の変更が必要となる都市計画の種類につき

ましては、前回の審議会で意見を聴きました都市計画区域と合わせまして、一覧表の2列目に記載をしております。この17種類となっております。

また、第5号議案の都市計画道路の変更及び第8号議案の都市計画公園の変更につきましては、都市計画の名称の中に番号が含まれておりまして、この番号が都市計画区域の統合により重複するということから変更する必要がございます。もう1枚の当日配付資料の第3号から第18号議案と書いてあります都市計画道路の名称と書いてあります部分をご覧ください。

まず、都市計画道路の名称についてでございますけれども、都市計画の名称の前に、番号で書いてあります、A・B・Cの3つの数字で表す番号が含まれております。このAにつきましては、その下、別表第1の都市計画道路の区分、自動車専用道路であるとか、幹線道路に相当するものといったように分けたものですね。Bにつきましては、その下の別表2の都市計画道路の規模ですね。都市計画道路でいえば幅員の規模を表すものとなっております。Cにつきましては、都市計画区域ごとに区分ごとの通し番号を付すこととなっております。先ほどもご説明いたしました区域が統合されることで重複するため、このCの部分について変更する必要がございます。

それでは3ページ目をご覧ください。都市計画区域統合に伴う名称変更のルールということでございまして、このルールにつきましては福岡県の中で決められております。Cに該当する部分が、次の4ページ目の道路別表の旧都市計画区域番号に従来の通し番号を枝番として付するようなかたちになっております。宗像市でいえば、上から14番目に、区域番号が10番というふうに決めてありますが、これに枝番をつけた数字に変更するものでございます。

次に2ページにお戻りください。都市計画公園の名称につきましても、都市計画の名称の前に、同じようにA・B・Cの3つの数字で表す数字が含まれております。Aにつきましては、次の別表3にございます都市計画公園の区分ということで、2番から9番まであります。街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園などがございます。Bにつきましては、別表4の都市計画公園の規模ですね。公園であれば面積の規模をここで示しております。次にCでございますけれども、Cにつきましては道路と同じく都市計画区域ごとに通し番号を付しております。これにつきましても、重複いたしますので、このCの部分について変更する必要がございます。今回、公園につきましては、5ページをご覧ください。公園別表と書いてある部分でございますけれども、ここで宗像市につきましては、左側の福岡市からずっと降りていきまして、真ん中ほどに宗像市とあります。ここで5001番から5300番までの任意の番号で割り当てられておりますので、今回5001から順に番号を振っていくというような形に変更しております。

次に、2つ目の変更点につきまして、今回の都市計画区域の名称の変更に合わせて、計画書の表記を一部変更するものでございます。変更内容といたしましては、参考資料の新旧対照表の中で第5号、8号、9号、11号、12号、16号が変更の対象となっております。

りまして、まず例といたしましては、参考資料の第9号議案の1ページをご覧ください。主なものといたしまして、位置ですね。場所というのは変わってはいないんですけども、宗像市におきましては大字が削除されたというところがございますので、今の現行のルールに合わせて「宗像市大字山田字管牟田」を「宗像市山田」というふうに変更しているというところがございます。区域の変更はございません。また、次に16号議案ですね。参考資料の16号議案の1ページをお願いします。ここで、地区計画の名称の変更と位置の変更でございますけれども、地区計画の名称のルールが最近定められまして、昔は例えばいわゆる地名と地区計画となっていたのですけれども、現行のルールといたしましては、自由ヶ丘であれば「自由ヶ丘地区地区計画」といったような表記で統一するような形で、今回すべての地区計画の区域について「地区」という文字を挿入しているというところがございます。もう1つの変更といたしましては、位置の変更でございます。先ほど申しました、大字が抜けたり、もう1つは住居表示によって、例えば稲元地区でございますけれども以前は「宗像市稲元の一部」というふうに表示しておりましたけれども、住居表示となっておりますので、今回「宗像市稲元三丁目及び城西ヶ丘五丁目の一部」ということで、字界が変わった関係上、軽微な変更に当たりますので、今回一括して変更させていただくというふうにしております。

以上でございますけれども、今回の変更につきましては軽微な変更に該当いたしますので、都市計画法第17条に基づく公衆の縦覧は行っておりません。

以上で説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○会長

はい、ありがとうございました。

それでは第3号議案から第18号議案までの説明がありましたので、一括して質疑応答に入りたいと思います。まず質問書についてですが、事前に提出がありましたでしょうか。

○事務局

事前の質問書の提出はございませんでした。以上でございます。

○会長

はい。それでは今ここで、ご質問がありましたらお願いいたします。

— 「なし」の声 —

○会長

質問は無いということですのでまず3号議案から16号議案に対してご意見がございましたらお願いいたします。

— 「なし」の声 —

○会長

それでは3号議案から16号議案までの、付議案件につきまして、通常は1件ずつ採決をとるところなのですが、今回は軽微な変更であるため、みなさまからの了承のもとで一括で採決したいと思います。よろしいでしょうか。

— 「異議なし」の声 —

○会長

それでは異議がないということで、第3号議案から第16号議案までの付議案件について一括で採決をとりたいと思います。それでは、第3号議案から第16号議案までの計14件の付議案件について異議のある方はいらっしゃいますでしょうか。

— 「異議なし」の声 —

○会長

それでは、異議なしということで、3号議案から16号議案までの付議案件は可決されました。

続きまして、第17号議案、第18号議案ですが、この議案につきましては、都市計画審議会の意見を聴くということで、議決を求められているものではありませんので、よろしくお願ひいたします。

それでは審議に入りたいと思います。こちらも16号までと同様に軽微な変更のため、委員の了承のもとで一括で意見を聴きたいと思います。一括で意見を聴いてもよろしいでしょうか。

— 「異議なし」の声 —

○会長

それでは17号議案、18号議案についてご意見があればお願ひいたします。

— 「なし」の声 —

○会長

特に意見はないと思いますが審議会としての意見をまとめなければいけないので通常は原案どおりとし、特に意見なしとするのが一番よろしいかと思うのですが、それでよろしいでしょうか。

— 「異議なし」の声 —

○会長

それでは原案どおりとし、特に意見なしということでまとめさせていただきます。

これで本日の議案の審議はすべて終了いたしました。皆様、ご協力ありがとうございました。

次はその他ということで、事務局から何かあればお願ひいたします。

○事務局

本日、報告事項等は特にございませぬ。以上でございます。

○会長

それではご協力ありがとうございました。

これですべての議題が終了いたしましたので、本日の都市計画審議会を閉会したいと思います。